

アフリカ開発銀行が発行する「ソーシャルボンド」への投資について ～アフリカの食料不安解決等への取組みを支援～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、アフリカ開発銀行（以下「AfDB」）のアフリカ地域におけるインクルーシブな成長（注1）を促進する取組みに賛同し、AfDBが発行する「ソーシャルボンド」（以下「本債券」）に100百万豪ドル（約94億円）を投資しましたのでお知らせします。本債券は、AfDBが初めて本邦の機関投資家に向けて発行するソーシャルボンドとなります。

AfDBは1964年に設立された、アフリカにおける持続可能な経済成長と社会発展の促進を使命とする国際開発銀行で、現行の10年長期戦略において、アフリカの成長の質を高めるためにインクルーシブな成長とグリーン成長への移行の2つの目標に重点を置いて取り組んでいます。

一方で、新型コロナウイルス感染症の長引く影響により、アフリカにおける貧困削減への取組みの成果に遅延が生じると見込まれています。加えて、アフリカは小麦やトウモロコシ等の食料輸入をウクライナ・ロシア両国に依存しているため、足元の政情不安が食料事情の悪化を招き、エネルギー価格の上昇とも相まって、もともと脆弱な立場に置かれている人々がいっそう困難な状況となっています。

本債券への投資資金は、貧困の削減やインクルーシブな成長につながる適格プロジェクトに充当され、食料不安の解決をはじめ、基礎的インフラ（電力、水と衛生、交通）、基本的サービス（医療、教育、職業訓練）、金融サービスへのアクセス改善や雇用創出など、社会経済的発展とエンパワーメント（注2）をもたらすことが期待されます。

当社は「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、ESG投融資を通じてグローバルな環境・社会課題の解決と国内地域経済活性化等の地域貢献により、社会的価値を創出していくことを推進しています。責任ある機関投資家として、引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【本債券の概要】

発行体	アフリカ開発銀行（AfDB）					
債券の購入額	100百万豪ドル（約94億円）					
払込期日	2022年4月26日					
償還期限	2032年10月26日（10.5年）					
対応するSDGs目標						

（注1） 誰一人取り残さない成長のこと

（注2） 差別や搾取、抑圧等で力を奪われた人々が自らの力を取り戻し、よりよい社会を築くために変革の主体となる力をつけること

【AfDBのソーシャル関連プロジェクト】

■チュニジア：農業サブセクター開発・促進プロジェクト

開発に多額の官民投資が必要な農業サブセクター（オリーブオイル、トマト、牛乳、地域のその他の有機製品）の付加価値を高めることを目指し、生産と生産性の向上、製品開発（加工、包装、認証など）の機会増大、および失業、貧困、不平等の削減を目指すプロジェクトです。



（アフリカ開発銀行 提供）

以 上